

日本共産党県議会議員

氏平 みほ子 ニュース

ミポリ/ン便い



2025年
秋号
NO.53

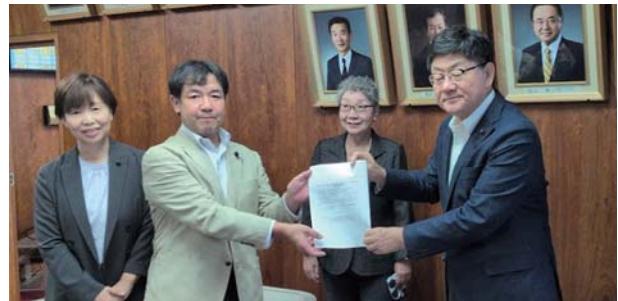
日本共産党県議会議員団(岡山市北区内山下2-4-6岡山県議会内)

TEL086-226-7412

議員の賛否を公表・ハラスメント防止を議長に要望!!

議案、請願・陳情に対する各議員の賛否を公開する陳情が9月議会で陳情は「不採択」にされました。県民に開かれた民主的な議会にするために不可欠な内容です。

会派を超えて実りある議論を促してほしいと、議長に要望書を提出し、各会派にも要請しました。



9月定例議会報告

外国人敵視の排外主義は許さない

参院選を機に「外国人が生活保護で優遇されている」などの誤情報が拡散し、排外的な動きが広がっています。伊原木知事は「偏見を生む誤情報を払拭し、多文化共生を推進する」と答弁。県民生活部長は「外国人が優遇される制度ではなく、生活保護も全国一律で特別扱いはない」と明言しました。産業労働部長は「外国人材の雇用実態を踏まえ支援計画を策定し働きやすい環境を整える」と述べ、教育長は日本語指導が必要な児童生徒247人への支援強化を表明し、県は共生社会の実現に向けた姿勢を明確にしました。

医療・介護応援の県政を

自民、公明、維新の3党が合意した「4兆円の医療費削減」方針では、全国で約11万床の病床削減や、OTC（市販薬）類似薬の保険適用除外が検討されています。病院の7割が赤字で閉鎖も過去最多となる中、さらなる削減は医療崩壊を招きかねません。病床削減や保険外しが進めば、難病やアレルギーなど慢性疾患の患者の生活が困難になるとして、中止を国に求めよと迫りました。県の保険医療部長は「病床削減ありきではなく、必要な病床は維持されるべき。医療現場の厳しさも踏まえ、国の議論を見守りたい」と答弁した。

公共交通の充実を

地域公共交通施策の方向性を示す岡山県地域公共交通ビジョンが今年はじめて策定されます。気候変動対策の位置づけや、医療・介護・健康寿命の増進に貢献する視点をビジョンに盛り込むべきではと知事に問いました。知事は、「今後ビジョンの策定にあたっては、持続可能で利便性の高い地域公共交通体系の構築に向け策定会議の場などにおいて、お話の気候変動対策なども含め、様々な観点から議論が行われると考える」と答弁しました。

県民の声を県政へ

新婦人の会稻作レクチャー



新日本婦人の会と共に県内の農業と
コメ事情について農政課にききました

2025年8月26日

教育文化センター申入れ



学校におけるエアコン設置や県独自の
学力テストの廃止などを要望

2025年10月15日

予算要求実現

能登半島地震に関連して、避難所のトイレの充実を求め、JFEスタジアム南側に『移動式トイレ』が設置されました。

トイレは8基、400回分溜める移動式水洗トイレとして災害時に避難所を支える他、スタジアムでの試合やイベント時にも開放されトイレ不足解消にも役立ちます。



9月議会

議案に対する 各会派の態度

○=可決(採択)

×=否決(不採択)

△=継続審査

※主なものを抜粋

請願・陳情	共産	自民	民県	公明	無所属	結果
旧姓の通称使用拡大について	×	○	×	×	○	○
知事・議員・職員間でのハラスメントを防止するための条例を制定	○	×	○	×	×	×
ジェノサイド条約の批准を日本政府に求めることについて	○	×	○	○	×	×
議案や陳情採択に対する各議員の賛否を公開すること	○	×	○	○	×	×

議案17件についてはすべて賛成しました。

相談日

◆第2、第4月曜日（18時～19時）岡山協立病院

◆第1月曜日（18時～20時）高島公民館で無料法律相談